

J R 総連通信

2023年2月2日 No.1615

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

JR総連・JR東労組

ローカル線存続にむけた 陳情をおこなう！



JR総連とJR東労組は1月23日、31日、2月1日の三日間、「安易な赤字路線の廃止には反対！地域の足を守り、地域に貢献し、みんなに親しまれる鉄道をめざす」取り組みとして、JR総連推薦議員懇談会所属の国会議員と、ローカル線のあり方について、意見交換をおこないました。

各議員からは、「JRが発足して35年、国が定めた首都圏在来線および新幹線の黒字で赤字を埋める『内部補助』と呼ばれるスキーム（枠組）が機能してきたにも関わらず、コロナ禍を契機に、国主導のもとでローカル線の存廃議論が加速していることに、危機感を持っている」との認識が示されました。また、地域の声や現場で働く組合員の声は重要であり、今後も連携をはかっていくと約束がされました。



JR総連は今後も、関係各単組と取り組みを進めていきます！